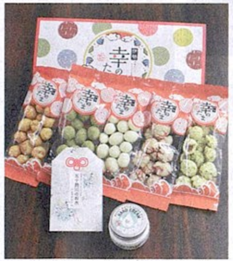
売り上げの3％ 市に寄付

伊勢ゆかり 豆菓子とクリーム

新商品に関して協定を結んだ上迫社長と㊧と竹鼻社長㊨＝伊勢市役所で

伊勢ゆかりの素材を用いた豆菓子「伊勢　幸のたま」と「五十鈴川のお水が湧き出るハンドクリーム」が11月から販売される。新商品を手掛けた豆菓子専門店「伊勢豆徳」（伊勢市本町）と化粧品会社「よろし化粧堂」（東京都台東区）は1日、新商品の売り上げの３％を寄付する協定を市と結んだ。（足達優人）

2業者と協定



今月発売の新商品。手前が「五十鈴川のお水が湧き出るハンドクリーム」。後列が「伊勢　幸のたま」

「伊勢　幸のたま」は、伊勢エビやあおさ、伊勢茶など五種類の伊勢志摩地域の特産品を使用した豆菓子。伊勢豆徳の上迫豊社長は「商品名は『幸の詰まった玉』という意味を込めた。ビールのつまみやお茶請けにも楽しんでもらえると思う」と話した。五袋詰め合わせで一箱千円（税抜き）。伊勢市の「外宮参道」の店舗やおみやげ店で販売している。

「五十鈴川のお水が湧き出るハンドクリーム」は、五十鈴川を水源とする地下水「伊勢の水」を使用。クリームを手に塗ると水が湧きでてくる特殊な技術を用いており、五十鈴川で手をすすぎ、伊勢神宮内宮の参拝へ赴く一連の流れを疑似体験できるようにしている。よろし化粧堂の竹鼻実樹社長は「お土産として受け取った人が、伊勢参りに行きたくなるような商品に仕上げた」と説明した。全て税別で、五十㌘入り千円、三㌘入り二百四十円。十一月下旬から市内のお土産店やホテル、旅館などで販売する。

両社長は市役所であった式で、市に新商品の売り上げの3％を寄付する協定にサインした。鈴木健一市長は「地元のものを活用した商品の完成をお祝いするとともに、寄付に心から感謝します」と述べた。寄付金は観光振興や文化保存などに活用する。

税の作文や習字 優秀作品を表彰

伊勢

表彰作品が飾られた会場＝伊勢市岩渕1のいせシティプラザで

伊勢税務署管内の税関係の団体でつくる伊勢税務連絡協議会は三日、伊勢市のいせシティプラザで、税に関する作文や習字などの優秀作品の表彰式を開いた。

租税教育の一環として伊勢志摩地域の小中学生を対象に作品を募った。作文、習字、標語、絵はがきの四部門に計千四百九十点の応募があり、五十一点が入賞、入選した。受賞者には松井保之署長らが表彰状を手渡した。

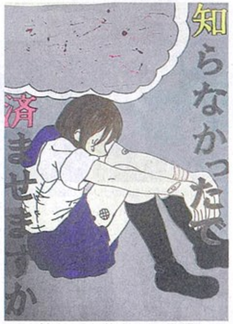
税を考える週間（十一～十七日）に伴い開催。会場には応募作品が展示されたほか、東海税理士会伊勢支部による無料税務相談も行われた。（足達優人）

◇入賞者のみなさん

【作文】県教委賞　谷水恵（浜島中2）▽伊勢税務署長賞　瀬崎紗良（加茂中2）▽伊勢税務連絡協議会長賞　岡山理紗那（城田中2）▽伊勢法人会長賞　池田真梧（加茂中3）▽伊勢納税貯蓄組合連合会長賞　水川敬照（同）【習字】県教委賞　片岡夢悠（神明小6）▽伊勢税務署長賞　松尾柚希（東海小6）▽伊勢税務連絡協議会長賞　里中紅葉（鵜方小6）▽伊勢法人会長賞　中村由依菜（宮山小6）▽伊勢納税貯蓄組合連合会長賞　須田心華（小俣小6）▽伊勢法人会税制委員長賞　野村紗良（鵜方小6）▽同青年部会長賞　練尾祐太（大湊小6）▽同女性部会長賞　黒谷彩葉（南勢小5）▽金賞　杉山達紀（御薗小6）武中智咲（鳥羽小6）山本明依（修道小6）▽銀賞　河口咲来（明野小6）柴田琉花（有田小6）島田彩椰（度会小5）【標語】伊勢税務署長賞　森柚奈（港中1）▽伊勢税務連絡協議会長賞　浜口莉音（同）▽伊勢法人会長賞　吉川夢菜（鏡浦小6）▽伊勢間税会長賞　城山翔汰（同）【絵はがき】最優秀賞　原希心（有緝小6）▽伊勢税務署長賞　吉川央祐（同）▽南勢志摩租税教育推進協議会長賞　真田京慈（外城田小6）▽伊勢税務連絡協議会長賞　奥野彩葉（有緝小6）▽伊勢法人会長賞　河村奈寧美（加茂小6）▽同税制委員長賞　大山田桃寧（有緝小4）▽同女性部会長賞　井倉萌寧（磯部小6）▽学校賞　浜郷小

鳥羽市人権ポスター特選

浜口さん（加茂小６）
斎藤さん（鳥羽東中２）


知らなかったで
済ませますか

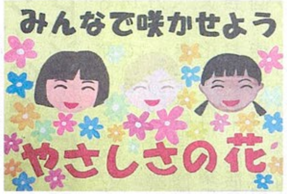
特選の斎藤さんの作品

鳥羽市が小中学生から募集した人権ポスターの入賞作品が決まった。特選には、小学校の部で浜口知里さん（加茂小六年）、中学校の部で斎藤栞樺さん（鳥羽東中二年）の作品がそれぞれ選ばれた。

人権意識を高めようと毎年実施。今年は小学生百四十一点、中学生七十五点の計二百十六点の応募があり、特選のほか、入選三十点を選んだ。

「みんなで　咲かせよう　やさしさの花」「知らなかったで　済ませますか」「いじめのない　平和な世界」といった標語とともに、いじめ防止や人権尊重などを絵で訴えている。

応募の全作品は三十日～十二月十二日、同市大明西町の鳥羽ショッピングプラザハローで展示される。（西山和宏）


みんなで咲かせよう
やさしさの花

特選の浜口さんの作品

慰安婦象徴作品 展示不可に抗議

伊勢の市民団体

伊勢市で三日まで開催された市美術展覧会（市展）で、戦時中の慰安婦を象徴する少女像の写真を使ったポスター作品が、主催する市や市教委の意向で展示中止となった問題で、メールや電話での市民からの市への問い合わせが、市教委文化振興課が把握しているだけで四十七件あった。五日には、展示不可に抗議する市民団体が市小俣総合支所を訪れ、大西要一事務部長に抗議文と公開質問状を手渡した。

文化振興課によると、報道などで展示中止を知った市民らから、十月三十一日と今月一日の二日間で問い合わせが四十七件あった。そのうち、「安全優先」とした市の姿勢に賛成するのが十八件、反対が二十件だった。これとは別に市広報広聴課や秘書課にも問

ミニトマト栽培 LEDで安定化

松阪・うれし野アグリ

房どりミニトマトを生産販売している松阪市嬉野新屋庄町の「うれし野アグリ」が今夏に新設した、発光ダイオード（LED）照明を用いた植物工場が軌道

LED照明を用いた新工場をPRする辻保彦社長＝松阪市嬉野新屋庄町で

めだかのうた

〈まさかの、おじさん？〉
（お風呂場の椅子に座って散髪しました。体中に付いた毛を見て）
孫　早く流して　おじさんになってしまう！
はない・ぜん（4）＝大台町高奈、祖母・出口まり子

〈スイミングの送迎バス〉
（車の中からバスが見えました）
子　バスも散歩しとるのかな
のろ・はな（3）＝松阪市塚本町、母・野呂悦子

新築・増改築のことなら
ワコーホーム
津市殿舟
☎059・237・4488
見積無料

事前相談受付中
光輪会館、市営式場 他
心をつなぐ家族葬
―永年の信用と豊富な実績―
ふじや本店
0120-114248